

【天地創造】

国常立大神「国万造主大神」（霊を入れる）
豊雲野大神「比津遲比売大神」（体をつくる）

転生

国常立尊 世界的に支配（＊閻魔大王）

↓天若彦尊により良（東北⇨日本⇨芦別山）に押し込められる。豊雲野尊（妻神）⇨ 坤（南西⇨鬼界ヶ島「喜界島」）⇨

素盞鳴尊の渡来 伊都能売神皇 国外へ脱出⇨ 観世音菩薩

大国主尊（出雲大社）

天照皇大神 ⇨ 岩戸隠れ（夜の時代）⇨

伊都能売神皇系（国常立尊）（日本人中百分の二）
⇨天照大神系
⇨大和民族
瓊々杵尊
⇨盤古神皇系⇨日ノ系統（日本人中一番多い）
⇨天孫民族
素盞鳴尊
⇨大国主命⇨朝鮮系（天孫に次ぐ）
⇨出雲民族
コゝカサス系統
⇨蒙古⇨土匪（最も少数）
満州を経て北鮮から 青森附近に上陸、以後漸次
本土深く侵入し、近畿地方にまで及んだ種族

出雲

奈良⇨九州

瓊々杵尊（大陸から九州へ…：高千穂⇨天孫降臨⇨古事記の改纂）

神武天皇（東方征伐）⇨ 大和朝廷（奈良 橿原神宮）

【天孫系（北朝）と出雲系（南朝）の覇権争いの歴史】

明治十五年十二月二十三日 明主・岡田茂吉様 御降誕

明治二十五年 出口なお刀自 「国常立尊」の神憑り ⇨「お筆先」大本教の始まり

建長五年（一二五三） 日蓮 日蓮宗開教
文化十一年（二八一四） 黒住宗忠 黒住教立教
天保九年（二八三八） 中山みき 天理教立教
安政六年（二八五九） 赤沢文治 金光教立教
明治十五年（二八八二） 平山省斎 御嶽教立教
明治二十五年（二八九二） 出口なお 大本教立教

昭和元年十二月 明主・岡田茂吉様「神憑り（伊都能売大神・国常立尊）」⇨ 五十万年以前の日本の創世記および未来記の開示

昭和六年六月十五日 明主・岡田茂吉様「夜昼転換の天啓」（房州鋸山山頂に於いて）⇨ 霊界の夜昼転換（三〇〇〇年の夜の時代が終わり昼の時代）⇨

昭和十六年五月二十三日 明主・岡田茂吉様 岩戸開きの神事（元伊勢神宮 ⇨ 七月一日 伊勢神宮へ…四十日）

＊天照皇大神のお出まし（太陽神の出現）

昭和二十九年二月四日 明主・岡田茂吉様『意味がある今年の立春』の講話 国常立尊のお出まし ⇨ 最後の審判の初日

昭和三十年二月十日 明主・岡田茂吉様 御帰天 霊的御存在として地上天国建設のご経綸を開始される

昭和五十八年五月一日 滋賀の神苑 神殿・教祖殿建立「大光明（みろくおおみかみ）・明主・岡田茂吉様の御神霊」世界的神殿の完成

＊ミノル・ヤマサキ氏設計（ニューヨークワールドトレードセンター設計者、二十世紀最高の宗教建築として）

平成二十五年 伊勢神宮、出雲大社の式年遷宮（鶴と亀が続べる）⇨ 眞名井神社本殿の建て替え始まる

平成二十六年八月二十三日 佐渡島 金北山神社へ国常立尊の大和絵奉納（荒川夏栄）

平成二十六年九月二十七日（丑の日）午前十一時五十二分 御嶽山噴火 登山者ら五十八名死亡。戦後の日本における最悪の火山災害。

平成三十年九月六日（丑の日）午前三時七分（良の時刻） 北海道胆振東部地震 北海道全体が二日間（丑寅の日）ブラックアウト（停電）

国常立尊の元神霊ご出現（神様のお渡りは浄暗）⇨ 三つの台風により日本全土のお浄め（三つ目は風台風―塩のお浄め）

平成三十年十月十四日 眞名井神社本殿遷座祭（胆振東部地震から四十日）

令和元年五月一日 元号『令和』に制定…『令』万葉集の梅花三十二首序文より引用。古い言葉「神様のお告げ」の意。

「三千世界一度に開く梅の花、良の金神の世になったぞよ。」（大本教お筆先）の通りの元号に

令和元年六月十五日 滋賀の神苑「救世主降誕本祝典」（国常立尊が救世主「メシヤ」としてお鎮まり ⇨ キリストの再臨）

令和元年十二月 太陽黒点活動の新しい周期が始まる。⇨ 新型コロナウイルス感染始まる。翌年「丑年の節分」より感染爆発⇨全世界へ

令和三年（丑の年）三月二十一日 「国常立大神」の戴冠式の姿（原画）、「舟の用意できた」（荒川夏栄 やまと絵展覧会）

令和三年十月十五日（経・緯結んで出づる日）「国常立大神」「豊雲野大神」原画の展示（荒川夏栄）

令和四年二月四日 丑寅を結ぶ節分・立春 明治二十五年から百三十年）最後の審判の世界的大浄化が始まる。（ロシアのウクライナ侵攻）

令和五年九月十六日（MICHIO MUSEUM秋季特別展「金峯山の遺宝と神仏」において、金剛藏王権現「国常立尊」が公にお出ましになる。

↓パレスチナ紛争勃発(アルマゲドンの戦いが始まる)

令和六年一月一日

能登半島地震発生 建物の倒壊や津波の被害などで死者は四百七十人以上に(災害関連死含む)。

* 眞井神社と芦別山を結ぶ線上 ↓ 最後の審判の世界的大浄化のはじまりを示唆。

令和六年九月二十一日～二十三日 能登半島豪雨 奥能登地域を中心に河川の氾濫、土砂災害が多発し、十五人が死亡。

令和七年二月十日 明主・岡田茂吉様 七十年祭

令和七年六月二十一日～トカラ列島群地震発生(二〇〇回以上) 眞名井神社から坤の方角(南西)に異変

令和七年七月二十五日(旧暦六月一日)(未の月の未の日) 「豊雲野大神」「比津遲比売大神」の御出現を示唆 ↓ WEBSITEの公開